

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	タクシー運転手	お客様の様子	・ハウス栽培をしている農家の人が、重油価格が上昇していることを気にしていた。また、県外資本企業の歓送迎会は例年並みであったが、地元企業の歓送迎会は少なかったと感じる。
(四国)	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・春休み中はかなりの人出があり、春休み終了後も土日を中心に観光客が多いと感じる。春物の売行きも良く、気温の上昇に伴って、夏物の出足もかなり良い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・株価上昇で可処分所得が増え、都会のデパートでは前年比プラスになっているが、この勢いが地方にまで波及するには時間を要する。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・肌寒い日が多く、衣料品の一部では動きが鈍かったが、消費マインドは上向いていると感じる。商品やサービスに対する吟味は厳しいが、きっかけづくりが上手く出来れば購入につながる手ごたえが感じられる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・母の日関連の予約は平年並みに入ってきている。昨年の売れ筋商品より500～1000円上のランクに人気がある。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・今月も宝飾品・時計などの高額品や美術品の販売数量が前年比プラスで推移している。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・高額品を購入する人が増えてきたが、一方でまだ必要な物しか買わないという動きもある。景気が良くなっている感じはしているが、まだ判断しづらい。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・売上の前年との乖離幅が少しずつ縮まってきているのは、良い傾向であると感じる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・生鮮食品を中心に売上が前年を上回り始めている。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数・購入単価ともに、ほぼ前年並みに推移している。これまで続いていた購入単価の下落が止まってきた。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・競合店の出店により来客数は減っているが、客単価は上昇しており、購買意欲は上昇していると感じる。
		コンビニ（商品担当）	お客様の様子	・価格の安い商品だけでなく、同じ品目でも高価格商品に関しての問い合わせが多くなってきている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・小物も含め購入点数が増えてきている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・大型連休前で大変盛況である。
		観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・まだ売上増加に結びついていないわけではないが、客の動きが良くなっており、ぜいたくというほどではないが節約をしなくなってきているように感じる。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・引き続き、高額商品の引き合いが多い。
変わらない		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・花見や各種会合などの需要は例年並みにあった。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・販売量が低迷したまま、上向いていない。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	それ以外	・3月末から今月にかけて古書店や老舗の飲食店が廃業し、地域全体の雰囲気から景気は悪いと感じる。店頭売上も前年割れしている。
		一般小売店〔菓子〕（総務担当）	販売量の動き	・季節的な要因もあるが、休日の販売量は上向き傾向にある。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・以前より美術品・宝石などの高額品の動きは良くなっているが、なかなか寒さが緩まず、繊維製品などの動きが悪かった。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・生活消費財に関しては、消費動向は変わっていない。節約志向は根強く、低価格商品のニーズは高い。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天候には恵まれたが、大型ショッピングセンターの影響を受け、休日の来客数は伸びなかった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月の当社の決算を終えて、販売量が落ちた。4月の販売量は3月に比べて半減しており、5月以降も不透明な状況である。

	その他小売 [ショッピング センター] (副 支配人)	来客数の動き	・4月前半は特に不調だった。後半に入って持ち直してきたが、波が大きい。	
	スナック (経営者)	お客様の様子	・繁華街の人通りは多くみられるが、歓送迎会のシーズンなのに、客の入りは少なく、景気が回復しているとは思えない。	
	都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・景気が良くなっているような雰囲気だが、それが全く実感できない。アベノミクスと言われているが、見せかけだけという気もする。	
	旅行代理店 (支 店長)	販売量の動き	・国内旅行の申込は前年を上回っているが、円安や新型インフルエンザ流行の影響で海外旅行の申込が減少している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・タクシーに乗る客が少ない。乗車があっても近距離利用が多い。お遍路さんも今年は少ない。	
	ゴルフ場 (従業員)	来客数の動き	・景気は少しずつ上向いてきているのではないと思う。しかし、来場者数や単価の推移からみると、まだ変化は見られない。	
	競艇場 (職員)	販売量の動き	・売上高は前月とほぼ同じであったが、3か月前比では18.3%の大幅な減少となった。ファンの高齢化が進んでおり、新しいファンの開拓を考えなければならない。	
やや悪くなっている	衣料品専門店 (総務担当)	販売量の動き	・4月中旬は気温が低下して売上が大きく落ち込んだ。月末にかけて気温が上昇したため売上は回復したが、月全体では前年比5%前後下回った。	
	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・登録ベースの販売量では3月受注分が4月登録になるため前年を大きく下回ることはないが、4月の受注状況を見ると、前年を17%程度下回る見込みである。	
	乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・受注・販売とも前年を割っている。	
悪くなっている	美容室 (経営者)	お客様の様子	・来客数が減少し、客単価も下がっている。	
企業 動向 関連	良く なっている	繊維工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・小売店からの発注が昨年に比べて大幅に増えており、アベノミクスで消費マインドが上向いているように感じる。また今年はゆるキャラブームに関連するタオルが飛ぶように売れている。
(四国)	やや良く なっている	食料品製造業 (商品統括)	それ以外	・円安が有益であることが世界的に共通認識となったことによる安心感が感じられる。
		鉄鋼業 (総務部長)	受注量や販売量の動き	・受注価格は低いがスポット的な受注があり、3か月前と比べると上昇傾向にある。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	受注価格や販売価格の動き	・円安の影響で海外との取引が増加しつつあり、採算面も改善してきている。拡販のための環境が整いつつある。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合い件数が非常に多くなっている。新設やメンテナンスも含めて設備案件が多い。大型の設備案件も増えてきた。
		通信業 (部長)	取引先の様子	・取引先との商談において輸出産業を中心として景気回復基調にあるとの話を良く聞くようになった。
		通信業 (総務担当)	競争相手の様子	・業界の総販売数は若干増えている。
		金融業 (融資担当)	取引先の様子	・株価上昇の影響により高額商品の売上がやや増加している。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の関与先企業の試算表等を見ると、売上が前年比で減少している企業がかなり減ってきている。景気がやや持ち直してきていると判断できる。
変わらない	木材木製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・アベノミクス効果・消費税増税を控えた需要・復興需要により景気は上向いていると感じている。ただ、円安傾向で、輸入する原材料価格が上昇していることが気付きである。	
	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・円安が急激に進み、原料などが高くなっている。値上げをしなければ採算に合わなくなってくるが、販売先の圧力が強いので厳しい。	
	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・公共工事量が前年比で横ばいから微増程度で推移しており、手持ちの業務量も例年よりも多い。3か月前と比べて良くも悪くもなっていない。	
	建設業 (経営者)	それ以外	・ガソリン等の値上がりなど円安の悪影響ばかりが目立つ。	
	輸送業 (経営者)	取引先の様子	・取引先などからの要求は相変わらず厳しく儲からない。	

	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・年度末を終えた反動で、国立病院や大学向けの売上が減少している。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・新年度に入って、荷主による生産調整が再スタートしたことから、輸送量が減少している。
	悪くなっている	—	—	—
雇用関連	良くなっている	—	—	—
(四国)	やや良くなっている	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・中途採用が少しずつ活発になっている。3月決算を踏まえて、新規や補充での人員採用を考え始める企業がやや増えている。前年同期と比べて企業の採用マインドが高くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・サービス業の事業拡大や新設に伴う求人増加、また、卸・小売業での新店舗オープンに伴う求人増加が目立っている。
変わらない		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・人材派遣サービスに関する職域の幅が、以前と比較して大幅な広がり認められない。
		人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・アベノミクスが景気回復へと繋がると言われているが、人材確保に向けての企業の採用はまだまだ慎重で、人員補充や季節労働の求人はあるが、前向きな採用の増加は見受けられない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・企業から積極的に投資する動きは出てきておらず、広告の出稿は自動車販売店がやや前年を上回っているくらいである。ただし賃貸を含む市内の不動産は東京や大阪の企業からの問い合わせが増えているようである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人のうち、正社員の占める割合は大きく変化していない。
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・景気の高揚感が伝えられているが、地元企業で採用者増というところはあまり無い。まだ様子見というところが多いように思われる。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数は昨年や一昨年の同期に比べて増えているものの、前月よりあまり伸びていない。
やや悪くなっている		人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・新卒社員の入社により求人が少なくなっており、製造業の求人も伸び悩んでいる。
		職業安定所（職員）	それ以外	・3月の月間有効求人倍率は0.90倍で、3か月前より0.05ポイント低下している。
	悪くなっている	—	—	—